

《 会計課 平成31年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

会計管理者 田中 宏幸

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

- ・会計規則等に基づく適正な会計処理を確保するため、書類審査や会計事務研修会等を通じて指導を行い、正確な出納事務の執行に努めます。
- ・平成32年4月から開始する会計事務のアウトソーシングに向けた取り組みを進めます。

【重点事項】

- ・平成31年5月の元号改正にあたり、支障なく円滑に公金収納事務を遂行できるよう、システムの改修を行います。
- ・会計事務のアウトソーシングに向けて、平成31年10月から会計事務の一部委託(派遣職員の雇用)を開始します。

【健幸都市づくりの推進に向けた考え方、主な事業】

【見 積】平成31年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		平成31年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	26,321	26,321	
合 計	26,321	26,321	

【前年度】平成30年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	25,495	25,495	
合 計	25,495	25,495	

【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	826	826	○公金収納システムの新元号対応に伴う改修費の増 ○データ伝送サービス利用料を納税課から会計課へ付け替えることによる増 ●印刷発注の見直しによる減 ●人事異動に伴う机椅子購入費を職員課が計上することによる減
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	826	826	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般会計		事業概要
		一般会計	特別会計	
会計課	26,321	26,321		平成31年5月の元号改正に伴い、公金収納事務システムが新元号に対応できるように改修を行います。(1,545千円)

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
会計課	11,256	12,536	▲ 1,280			0	【枠外要求 1,545千円】 平成31年5月の元号改正に伴う公金収納事務システムの改修費用の増
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	11,256	12,536	▲ 1,280	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

会計事務の一部をアウトソーシングすることにより、事務の効率化を図ります。